

発等により年々減少しており、豊かな自然を大切に守っていかねければならない状況にあると認識している。

豊かな自然を大切にすることは、今後のまちづくりを進める上で、川越の魅力の一つとして欠くことのできない視点であると認識しており、樹林地の保全と活用や水辺環境の保全等、自然共生に

関する施策を着実に実施していきたくと考えている。

.....

問4つの川越づくりの達成について、どう考えているか。

答待機児童対策、川越駅や新河岸駅周辺の基盤整備、地域会議の設置、斎

議案第2号

市制施行百周年記念事業基金条例

〔政晴会〕

問基金の目標額の根拠について伺う。

答過去の事例や他市の取り組みを参考に、記念史の作成や記念講演などの

場の整備など各分野の課題に取り組み、まちの活性化を図る中で一定の成果を上げていると考える。

今後は、喫緊の課題である人口減少と少子高齢化対策として、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みを仕上げる

ことが4つの川越づくりにつながると考える。

問教育長と教育委員長を一本化して2年がたった。体制はどう変わったか。

答教育行政の第一義的な責任者が教育長であることが明確になり、そのリーダーシップは強化されたが、教育長と非常勤の委員で意思決定を行う教育委員会の仕組みは従来通りである。

自主事業、市民参加型の事業等々の費用として2億円と試算した。

問100周年記念事業の実施に当たり、2億円は

妥当と考えるのか伺う。

答目標額は記念事業の経費を計画的に準備するという基金設置の趣旨を踏まえ、想定される記念事業の経費の概算から現段階の目安として設定したものであり、実際の事業

議案第5号

特別職の常勤職員の給与等の条例等の一部改正

〔日本共産党〕

問期末手当0・1%引き上げの経緯を伺う。

答一般職の給与改定の内容、他市の状況等を踏まえて検討の上、一般職の給与改定と併せて起案し、市長および副市長の意向を確認しながら、市長決

裁を得て決定した。**問**市長等の給料は特別職報酬等審議会を経て決めるが20年以上開かれてない。今後の在り方を伺う。

答特別職の給料の額の決

議案第6号

空家等の適切な管理に関する条例(全部改正)

〔公明党〕〔自由民主党〕やまぶき会〔日本共産党〕

問今回の条例改正により、どのくらいの空家等の案

については、増減が見込まれるものと考えている。記念事業については、市民と十分協議し、100周年にふさわしいものとなるよう検討を重ねていきたいと考えている。

定に当たっては、民意の反映による公正性・透明性の確保が大変に重要と考える。今後、他市の状況を参考にしながら、その在り方を検討したい。

問市長の期末手当は引き上げ後、600万円を超す。他市との均衡など検討したというが根拠をもつて妥当だといえるのか。

答妥当であると考え、この議案を提出した。

問空家等の所有者等に積極的に働き掛けるなど、空家等対策の推進に関する特別措置法と改正後の条例と合わせて効果的に

対策を講じていくことで、空家等の問題解決につながっていくと考えている。

問行政代執行についての市の考えは。

答所有者等の財産権の制約を伴う行為であることから、慎重に行うことが必要と考えられるが、空家等の適切な管理が行われていない結果として、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている

ときは、地域住民の生命、身体または財産を保護し、その生活環境の保全を図るために行政代執行を講ずる必要があると考えている。

.....

問新たに業務に変化が生じるが、空家案件の処理に、どのように生かされるのか。

答特定空家等となる前の適切な管理がされていない空家等について、助言

または指導を行うこと、また、人の生命、身体、財産等に危害を及ぼすことを避けるために、緊急の必要があると認められるときは、必要最小限度の措置を講ずることが可能となる。

問市民へのメリットを、どのように考えるか。

答空家等の所有者等に積極的に働き掛けることによつて空家等の問題解決につながり、また、危害が及ぶことを避けられるようになり、市民の安全、安心につながるといふ点で大きなメリットになると考えている。

.....

問所有者等の責務に対し、市の責務をどう考えているか。

答第一義的には所有者等が対応することが前提と考えるが、周辺の生活環境に悪影響を及ぼす空家等については、適切な管理のための措置を講ずるなど、空家等に関する対策を実施することが重要